

# 調査研究会の開催の背景について

安心・安全な社会の実現に向けた情報通信技術の  
あり方に関する調査研究会 第1回会合

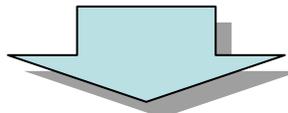
平成18年2月8日  
事務局

# 開催趣旨について

## 社会の安心・安全に対する社会的要請の高まり

- ・相次ぐ地震、台風、津波などに対する災害対策
- ・食の安全、児童の安全確保など多様な問題への的確な対応

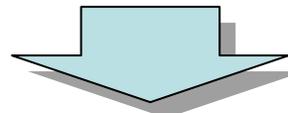
このような社会的課題の解決のため



既存の情報通信技術の活用に加え、新たな情報通信技術の開発

安心・安全の確保について  
情報通信技術の活用及びその研究開発の推進が、  
今後、国をあげて取り組むべき主要な国家戦略

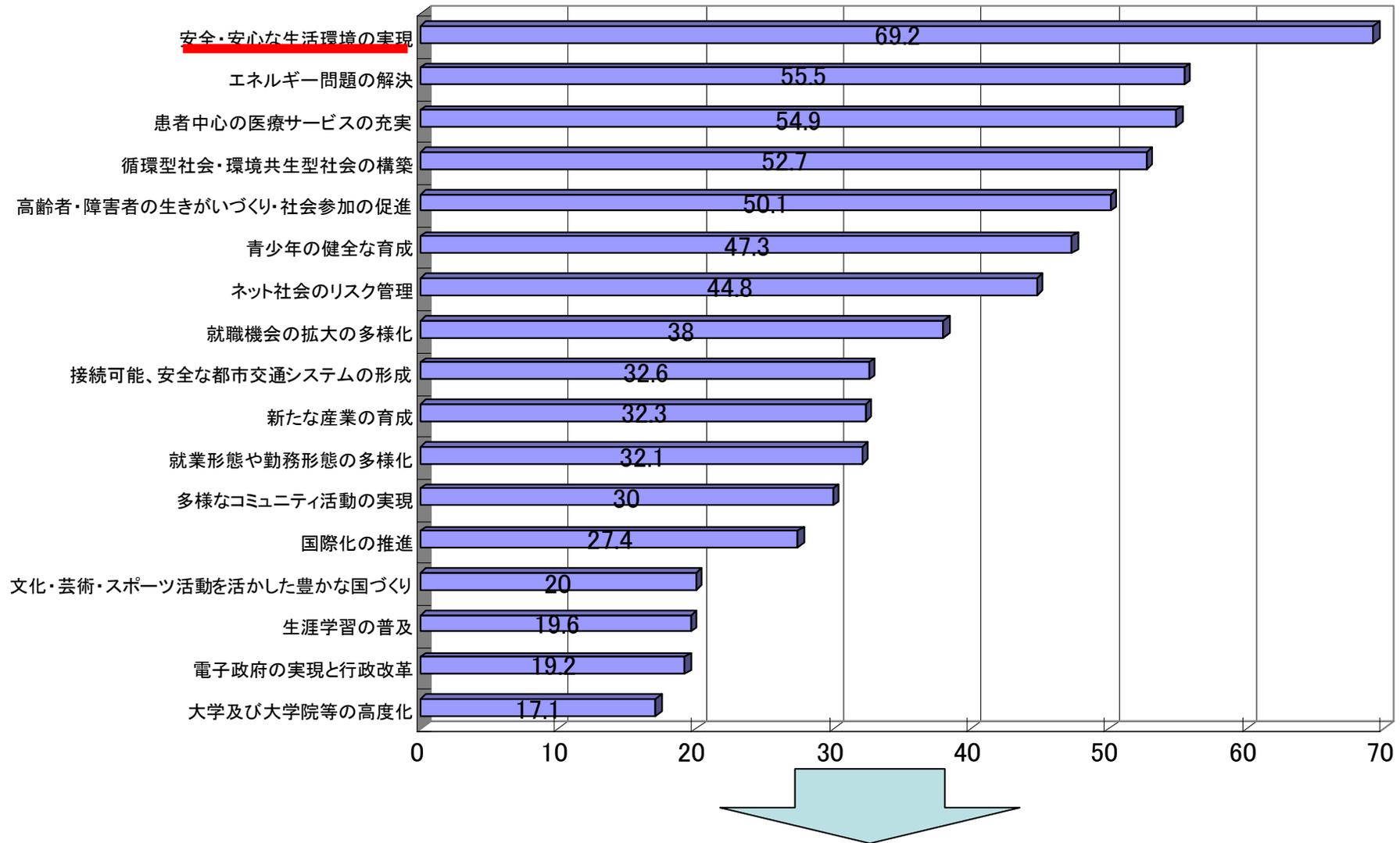
(IT戦略本部や総合科学技術会議)



このため

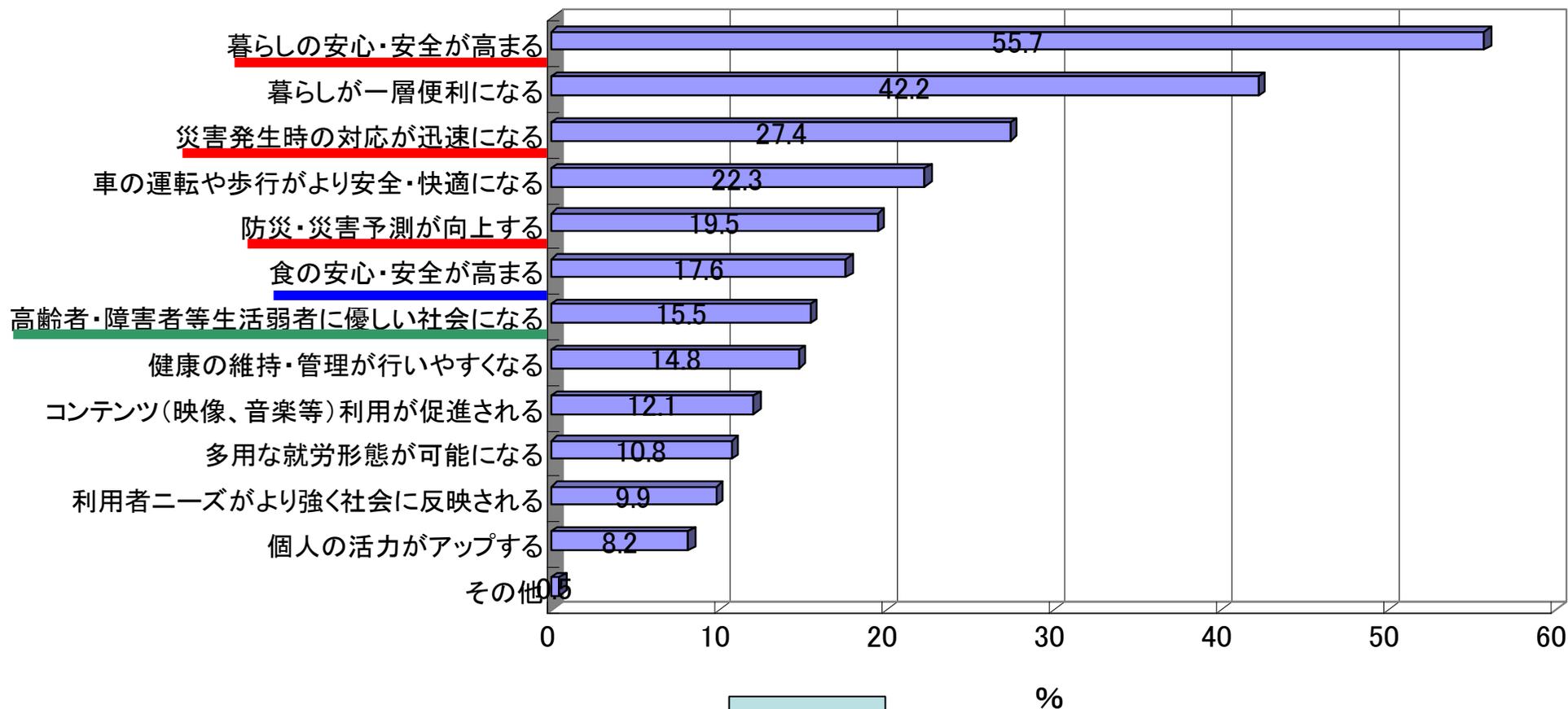
- 総務省においても、今後取り組むべき技術戦略の1つとして研究開発を推進
- この研究開発に資するため、安心・安全な社会の実現に向けた情報通信技術の動向及び今後の研究開発のあり方について、調査研究を実施。

# 1-1 2010年に向けた日本社会が取り組むべき重要テーマ(複数回答)



安心・安全な生活環境の実現が期待されている。

## 1-2 ユビキタスネットワークへ期待する効果(複数回答)



暮らしや食の安心・安全、災害対応の向上等に国民が期待

## 2 「安全・安心の確保」については、国をあげて取り組むべき国家戦略

(政府の方針)

IT戦略本部

1 ITの構造改革力の追求

**(2) 安全・安心な社会の実現**

**・世界に誇れる安全で安心な社会**

具体的には...

- ・情報収集の迅速化・精度の向上及び災害軽減技術を実用化
- ・防災・治安情報の基盤を高度化・堅牢化
- ・各種治安対策に対してITの活用を推進
- ・生鮮食品等のトレーサビリティを実現 等

「IT新改革戦略—いつでも、どこでも、誰でも ITの恩恵を実感できる社会の実現—」(18.1.19)

総合科学技術会議

目標6 安全が誇りとなる国

—世界—安全な国・日本を実現—

**(11) 国土と社会の安全確保**

**(12) 暮らしの安全確保**

検討における具体例としては...

- ・災害に強い新たな減災・防災技術の実用化
- ・食の安全と信頼の確保
- ・深刻化する犯罪から国民を守る新たな技術の実用化
- ・堅固な情報セキュリティシステムの実現 等

「科学技術に関する基本政策について」に対する答申(17.12.27)及び「科学技術基本政策策定の基本方針」(17.6.15)

(総務省の方針)

情通審答申「UNS戦略プログラム」

**安心・安全な社会を目指す「ICT安心・安全技術戦略」**

①センサー技術基盤

高精度なセンサー等により災害対策だけでなく、市民生活の安心・安全に寄与する技術の研究開発

②高信頼ネットワーク技術

防災に使用される自営ネットワークにおける確実な情報収集・伝達に寄与する技術のほか、災害時に壊されても、確実に復旧し。すぐに使える世界最強のネットワークライフライン技術の研究開発

③ユビキタス&ユニバーサルタウン

センサネットワークやロボット等により、高齢者・障害者をはじめ、人に優しく地球に優しいユビキタスネット環境の研究開発

安心・安全な社会の実現に必要な情報通信技術に求められる要件、研究開発課題、実現方策等について検討